

5000トンの収容、低温で品質低下防止



県最大級、米の貯蔵施設

J A全農岐阜、海津に新設

全国農業協同組合連合会
県本部(J A全農岐阜)は、
米を低温で保管する県内最
大級の施設「ぎふの米X r
oss Depo(クロスデ
ポ)」を、海津市平田町
師川に開設した。県内の農
業倉庫は老朽化などにより
収容力が不足していたが、
新施設の活用で年間約1万
トの受け入れが可能にな
る。21日には完成式典が開
かれ、関係者がテープカッ
トで祝った。

(小田香緒里)

◆ J A全農岐阜の米の貯蔵
施設は、新施設が初めての

完成した米の貯蔵施設「ぎふ
の米XrossDepo」を
内覧する関係者＝海津市平田
町師川

開設となる。県内各地の玄
米を収容し、県産米の流通
の拠点にもなる。施設は2
棟からなり、床面積は約2
760平方メートル。事業費は約
4億6千万円。

これまでは倉庫の不足に
より、県外の倉庫なども
利用してきた。新施設では
一度に約5千トを収容し、
主に春と秋に入れ替えて
約1万トを受け入れること

ができ、管理コストの削減
にもつながる。施設内は
室温13〜15度で管理し、品
質低下も防ぐことができ
る。

式典でJ A全農岐阜の山
内清久運営委員会会長は、
「施設が県J Aグループ米
穀事業のさらなる発展の拠
点となることを願う」とあ
いさつし、関係者がテープ
カットした。